

東北学院大学  
土樋キャンパス ホーイ記念館  
2019年9月12日～12月12日  
毎週木曜日18:30より

今年のテーマは  
多様性の教養学、あるいは教養学の多様性

科学の最先線からアプローチする「多様性」  
現代社会が直面している「多様性」の分析と総合

文化の「多様性」とグローバリズムとの軋轢や融和  
多種多様な視点から複層的に捉えることの楽しさを

一緒に味わいませんか？

主催 東北学院大学教養学部  
東北学院大学人間情報学研究所

受講料 無料  
※興味あるテーマだけの受講も歓迎します

大人の教養倶楽部  
多様性の教養学、  
あるいは教養学の多様性

本講座は教養学部における知的営みの幅広さと奥深さと面白さを知っていただくことを目的として開くものです。

- 第1回 (9/12) ダイグロシア(diglossia)って何 —— 中華圏の場合** 塚本 信也  
グローバリズムやバイリンガリズムはどなたもご存知のはず。もう一つ、言葉と文化の多様性について考える視点をご紹介します。
- 第2回 (9/19) 1.2%の差からみる多様性:人間らしさを考える** 東海林 渉  
人間とチンパンジーとのゲノム差はたった1.2%。その違いから多様な生物の一種であるヒトの人間らしさを考えます。
- 第3回 (9/26) エスニック・ジョークと地理学** 柳井 雅也  
ある国の国民性をジョークで表すことがあります。言い得て妙なジョークからみなさんと一緒に考えていきましょう。
- 第4回 (10/3) 言語の多様性と普遍性** 岸 浩介  
世界の言語は幅広い「多様性」を示しますが、本講義では、その背後の「普遍性」を追求する生成言語学の考え方を紹介します。
- 第5回 (10/10) 多様性との共生を考える教育** 坪田 益美  
「多様性を尊重する」ために、教育ができること、すべきことは何か、一緒に考えてみたいと思います。
- 第6回 (10/17) 生き物、38億年の試行錯誤** 牧野 悌也  
生き物の多様性は、最初の細胞が38億年前に誕生した瞬間から約束されていました。生物多様化の仕組みとその歴史を概括します。
- 第7回 (10/24) 心を温かくする生物多様性** 平吹 喜彦  
日々の食卓、四季折々の景観、地域の文化を支える多様な生きもの。その存続の危機をみつめます。
- 第8回 (10/31) モノのインターネット(IoT)による多様な地域課題への取り組み** 高橋 秀幸  
モノのインターネット(IoT)およびその関連技術を用いて多様な地域課題の解決を目指した取り組みについて紹介します。
- 第9回 (11/7) ことばの多様性 — 韓国語と日本語の比較を通して** 金 亨貞  
韓国語と日本語の共通点と相違点、在日コリアンの言語変容などを題材にしながら、ことばの多様性について改めて考えます。
- 第10回 (11/21) 「LGBT」から「SOGI」へ — 性の属性の多様性** 仙田 幸子  
「LGBT」から一歩進み、皆が「性に関する属性」を持っていること、それは多様であることを、「SOGI」から考えてみましょう。
- 第11回 (11/28) 心のケアの多様性 — 東北地方の巫女(シャマニズム)をめぐる** D.K.アンドリュース  
心のケアのスペシャリストとして地域社会を支えてきたイタコやカミサマという巫女を再考します。
- 第12回 (12/5) 整数の多様性** 小林 善司  
整数の多様性について「ピタゴラス数とフェルマの最終定理」、「素数は無限個存在する」などの話題を取り上げ解説します。
- 第13回 (12/12) コミュニティの多様性と健康づくり** 高橋 信二  
健康づくりと地域コミュニティの多様性は関係します。国内外の視点からコミュニティと健康の関係を考えます。